

事業概要・目的

- ・食産業の海外展開に向け、日本の知識・技術を習得し、現地の文化・習慣等に通じた担い手の育成が課題。このため、重点輸出先国であるアセアン諸国において、各国と連携して若年層の人材育成を行うことが鍵。
- ・アセアン域内主要大学に寄附講座を開設し、アセアン事務局に派遣するコーディネータの調整の下、種苗から食品加工、流通、消費にいたる分野の知識・技術を、日本の専門家を派遣して教育。

アセアン事務局

コーディネーター
(農林水産省より派遣)

- ・顧問委員会の開催
- ・ホームページ運営
- ・講座運営費負担
- ・指導教官招へい調整
- ・機器、施設整備 等

調整

アセアン域内主要大学

- ①フードバリューチェーン講座の開設:
種苗生産から食品加工、流通、消費まで各分野をカバー
- ②フードバリューチェーンセミナー:
寄付講座未設置の国の大学において、講師派遣により実施

講師派遣

日本の食関連企業、大学

- ・アセアン地域現地法人の日本人スタッフ
- ・専門分野の技術・知識に長けたスタッフ、教員

当該国において日本の知識・技術を学んだ事業展開の担い手候補が多数育成

期待される効果

- 食関連企業の海外進出(Made By Japan)が促進され、我が国の食文化・食産業のグローバル展開に貢献
- ASEAN各国の学生が日本の食品加工・流通技術等を学ぶことにより、地域のフードバリューチェーンが強化され、食料安全保障の強化 及び 農民の貧困削減に貢献

= 日・ASEAN 政府間での経緯 =

ASEAN 諸国では、2015 年の経済統合を控え、従来型 ODA による支援よりも民間投資と組み合わせた支援のニーズが増加している。かかる背景の下、本プロジェクトは、政府主導での官民連携による日・ASEAN 協力事業として実施されるものである。

これまでの日・ASEAN 政府間の各種対話において、本プロジェクトは取り上げられている。昨年 12 月に東京で開催された日・ASEAN 友好協力 40 周年記念特別サミットでは、「日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント実施計画」が採択され、本プロジェクトの内容が盛り込まれた。

日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント実施計画（仮訳）【抜粋】

東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国及び日本の首脳は、「つながる想い、つながる未来」のテーマの下で、日・ASEAN 友好協力関係 40 周年を記念して 2013 年 12 月 14 日に東京に集まり、日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント及びその実施計画を採択した。

2. 繁栄のためのパートナー

包括的経済連携と地域の繁栄のための協力を更に促進するために、日本と ASEAN は、

2.26 生産から消費に至るフードバリューチェーンに関する官民連携の協力を促進する。

また、本年 1 月には吉川農林水産副大臣を始め、ASEAN 事務局次長、ASEAN 各国政府・大学関係者の出席のもと、本プロジェクトのキックオフイベントとして人材育成シンポジウムがジャカルタで開催された。ASEAN 事務局からプロジェクトに対する謝意が示されたほか、ASEAN 各国出席者からはプロジェクト実施に向けて強い期待感が示され、今後 ASEAN 各国政府に対して、新たな協力スキーム“ASEAN 諸国の大学と連携した人材育成”の円滑な実施に向けて国内調整の促進を奨励すること等を内容とする提言が採択されている。

提言（仮訳）

日 ASEAN40 周年記念 ASEAN 諸国の大学と連携した食料分野における人材育成に関するシンポジウム

2014 年 1 月 21 日にジャカルタで開催された ASEAN 地域の大学と連携した食料分野の人材育成に関するシンポジウムの参加者は、ASEAN 地域における食料分野の人材育成に関する意見交換を行い、以下の共通認識に至った。

2013 年 12 月の日 ASEAN 特別首脳会議における、農業、食料安全保障におけるパートナーシップ強化を通じて、人材育成を促進し、社会問題及び環境問題を克服するとして「日・ASEAN 友好協力に関するビジョン・ステートメント」を想起し、

ここに、以下の通り提言し、我々の政府に対し実行するよう奨励する。

1. 生産、加工・流通から食品サービス業に至るフードバリューチェーン及び食品安全に関する官民連携の協力を促進すること
2. 新たな協力スキーム“ASEAN 諸国の大学と連携した人材育成”の成功は地域の生産から消費に至るフードバリューチェーンの強化、とりわけ ASEAN と日本の関連産業の成長に有効であることを認識し、その円滑な実施に向けて国内調整を促進すること
3. 能力開発、経験及びグッドプラクティスの共有、研究・開発、技術移転、人材育成等のメカニズムを通じ、農林水産業、食料安全保障及び食品品質・安全の分野における協力を強化すること

参加者は、本シンポジウムの結果を SOM-AMAF+3 及び AMAF+3 に対し提出することで合意した。



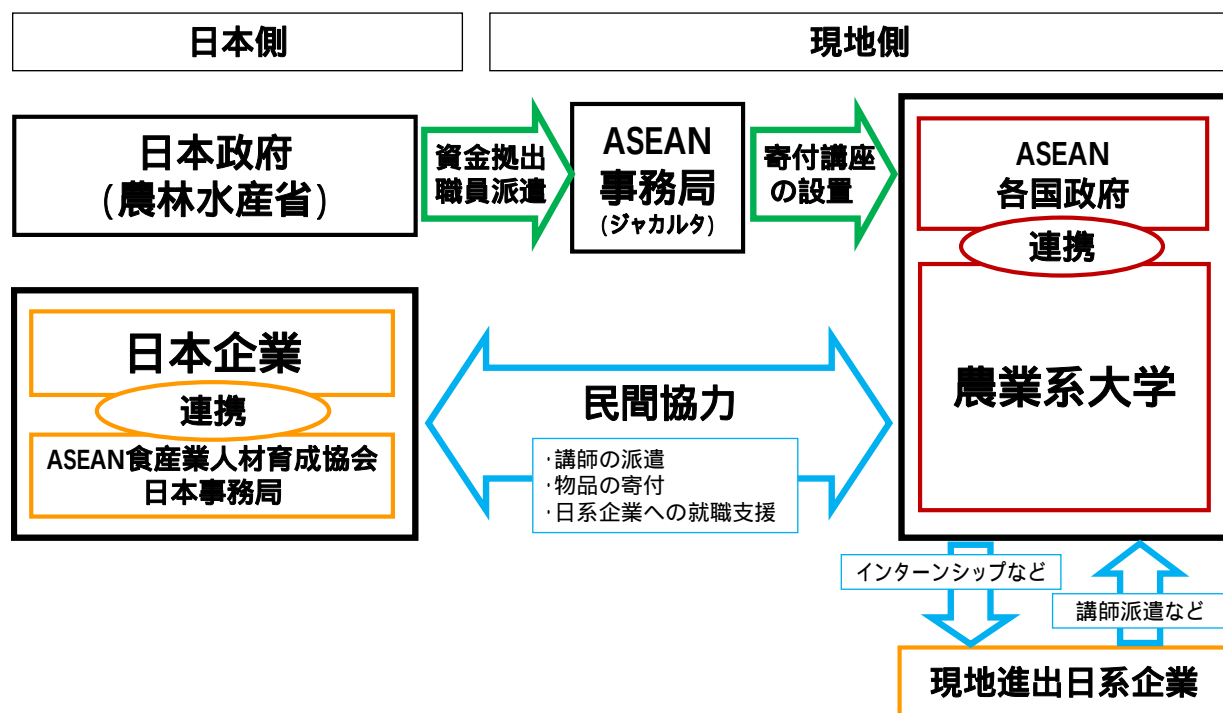
“ASEAN 諸国の大学と連携した食料分野における人材育成に関するシンポジウム”
(2014 年 1 月 21 日 インドネシア・ジャカルタ)



ミン ASEAN 事務総長との会談においてもプロジェクトへの支持が示されました。
(2014 年 1 月 22 日 インドネシア・ジャカルタ)

日・ASEAN 食産業人材育成官民共同プロジェクト概要

《概要イメージ》



《各国の連携予定大学》

ブルネイダルサラーム大学 —BRUNEI 所在地：ブルネイ 1985 年創立、学生数 2,800 人	王立カンボジア農業大学 —CAMBODIA 所在地：プノンペン 1964 年創立、学生数 10,000 人	ボゴール農科大学 —INDONESIA 所在地：ボゴール 1963 年創立、学生数 25,000 人
ラオス国立大学 —LAOS 所在地：ビエンチャン 1996 年創立、学生数 26,000 人	マレーシアブトラ大学 —MALAYSIA 所在地：クアラルンプール 1931 年創立、学生数 25,000 人	イエジン農業大学 —MYANMAR 所在地：ネピドー 1924 年創立、学生数 1,500 人
ビサヤス州立大学 —PHILLIPINES 所在地：ビサヤス 1924 年創立、学生数 25,000 人	シンガポール国立大学 —SINGAPORE 所在地：シンガポール 1905 年創立、学生数 31,000 人	カセサート大学 —THAILAND 所在地：バンコク 1943 年創立、学生数 58,000 人
農業農村開発管理大学 —VIETNAM 所在地：ハノイ N/A 年創立、学生数 N/A		

...初年度実施予定大学

上記大学は現時点の予定であり、
今後、各国政府との調整により
変更の可能性があります。



プロジェクトの内容

寄付講座の設置

ASEAN 各国の大学において、学生や一般参加者を対象に、フードバリューチェーンに関する講義やセミナーを実施します。協賛企業（主として現地法人）から講師を派遣していただき、講師の方々には各大学から称号（特任講師等）が付与される仕組みとする予定です。

なお、カリキュラムはフードバリューチェーンを軸とする予定ですが、各大学や協賛企業の興味関心に応じて、講義内容や重点を置く科目を調整します。

《カリキュラムの例》テーマ：フードバリューチェーン集中講座（各日 180 分の講義を 2 週間にわたり実施）

日程	トピック	内容（例）	講師（例）
1日目	イントロ	・フードバリューチェーンについて	農水省
2日目	種苗	・高品質種苗の生産から圃場管理、産品の流通	種苗会社
3日目	食品加工	・食品開発における技術、発酵・醸造技術など	食品企業
4日目	食品安全	・食品の安全管理や製造工程の衛生管理に関する取組	食品企業
5日目	食品流通	・鮮度管理・品質保持技術、包装・充填技術など	流通、包装企業
6日目	マーケティング	・消費構造、マーケティング、ブランド戦略	食品、小売企業
7日目	外食産業	・チェーンオペレーション、外食の社会的役割など	外食企業
8日目	フードコーディネート	・メニューの提案・開発を行うフードコーディネート	食品企業
9日目	食文化	・日本文化と和食、出汁の取り方など	農水省
10日目	環境対策	・ゴミ処理・コンポスト化、リサイクル、減容化など	食品企業
その他	現地視察	・農業生産現場・加工施設等の視察実習など	食品企業

開講式の開催

講義実施に先立ち、現地政府や協賛企業を御招待して開講式を開催します。来賓による記念講演も実施予定です。

お問い合わせ先
農林水産省食料産業局
新事業創出課（人材養成班）山崎、岩永 03-6744-2062